

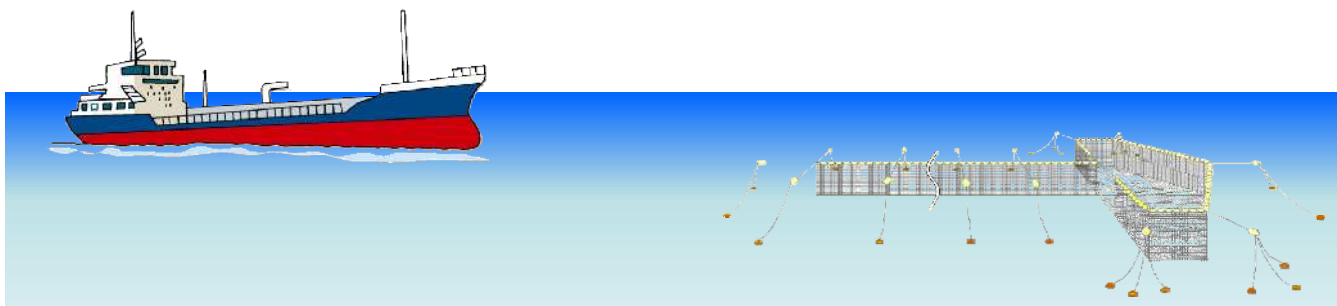
## 沿岸航行に注意！

お盆を過ぎた北海道では、各地でさけ定置、さんま棒受け網、いか釣り等の漁業活動が最盛期を迎えます。

また、漁業活動だけではなく、サケが沿岸に寄り始めているため、サケを狙ったプレジャーボートも増加します。

これら沿岸で活動する漁船やプレジャーボートは、小型のためレーダーに映りにくだけでなく、波やうねりの状況で波間に見え隠れするため、発見が遅れがちになることから、普段以上に見張りを厳重に行い衝突事故や乗揚げ事故を防止しましょう。

また、各地の沿岸部には、さけ定置網が設置されていますので、できるだけ沿岸に接近しすぎないように自船の位置をしっかりと把握して乗揚げ事故を防止しましょう。



## 見張りの徹底と早期避航！

これからの時期は、漁業活動や釣りを目的としたプレジャーボートの活動が最盛期を迎えます。

出港隻数が増えるとともに、狭い海域に集中する場合もあり、衝突事故の発生が懸念されます。

衝突原因の多くは、見張り不十分によるものです。

これらの見張り不十分の内容の多くは、「操業等の作業に集中し、気付いたら避航する余裕が無かった。」「漂泊中、釣りに夢中になり、気付いたら向かってくる船を近くに認めたが、エンジンを起動して避ける余裕がなかった。」等、見張りをしていないことが原因となっています。

作業中でも釣り中でも、周囲に航行船舶があることを常に頭に入れて見張りを徹底し、また、早期に避航判断をすることが大切です。

「周りには船がないだろう」「相手が避けてくれるだろう」ではなく、「周りに船がいるかもしれない」「相手はこちらに気付いてないかもしれない」と考え、勝手な思い込みでの「だろう」運航はやめましょう。



お問い合わせは **第一管区海上保安本部交通部**

電話 0134-27-0118 (内線2643,2644)

海の安全情報(スマホ) <http://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>



海難隻数及び海難による死者・  
行方不明者数(速報値)

7月	4隻、0人
平成29年累計	54隻、2人